

第3章 プランの内容

1 めざす教育像

第3期プランの成果を継承し、今後5年間のめざす教育像として、未来を見据えためざす子ども像と、こどもの育ちや学びを支える学校像、教職員像をそれぞれ決めました。



- ◆ 他者とともによりよい社会を築くため、自分のよさを知り、他者への思いやりや命を大切にすること、多様性を認める心等、豊かな人権感覚を育みます。
- ◆ 郷土堺の歴史・文化のよさを知り、堺を愛し、誇りに思ふ心を育みます。また、グローバル化、多様化がより一層進展する社会へ対応するため、国際的な視野から多様な価値観や文化、互いのアイデンティティを尊重できる心を育みます。
- ◆ 変化の激しい社会を生き抜くため、生涯にわたって自律的に学び続け、他者と協働し、未来を見据えて、新たな価値を創造することができる「未来を切り拓く力」、ゆめの実現に向けて、自己を表現しながら、しなやかに力強く挑戦することができる心を育みます。

- ◆ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた主体的・協働的な学びを通して、「未来を切り拓く力」を育みます。すべての子どもへの教育機会の確保に向けた支援に取り組み、こどもの育ちと学びの連続性を重視し、校園種間の円滑な接続を含め、一貫した教育を推進します。
- ◆ こどもの多様性を認め、それぞれのよさや可能性をのばすため、子どもたちの状況に適した学びの場を提供し、こどもが安心して自分を表現できる学校園をめざします。全教職員が目標について共通理解し、家庭・地域と連携しながら、こどもの豊かな人間性を育みます。
- ◆ 管理職によるリーダーシップのもと、教職員が他者と協力し合いながら、それぞれの力を存分に発揮できるウェルビーイングが確保された環境を作り、家庭・地域・関係諸機関、専門家等、校内及び校外の多様な主体と連携し、チーム学校として、カリキュラム・マネジメントや危機管理対応等、自主性・自律性のある信頼される学校経営を進めます。

- ◆ 学校教育を取り巻く社会や環境の変化を理解し、信念を持って学び続ける教職員、こどもに寄り添い、信じ、ゆめと情熱を持ち続け、こどもとともに成長し続ける教職員をめざします。
- ◆ こどもたちの「未来を切り拓く力」を育むために、さまざまな変化を前向きに受け止め、専門的指導力を向上させ、探究心を持って柔軟に学び続ける確かな指導力を持つ教職員をめざします。
- ◆ 豊かな人権感覚と、高い危機管理意識を持ち、こどもの発するSOSを鋭敏に感知し、こどもの生命や安全・安心を多様な主体と協働しながらチームで守ることができる、信頼される人間力を持つ教職員をめざします。また教職員としての自らの“自覚”と“誇り（PRIDE）”を胸に、不祥事の根絶をめざします。

